

資料3 添付資料1

共同輸配送に関するアンケート調査(荷主編)

貴社の概要についてお伺いします。

以下の項目について、お答えください。

項目		内容
貴社名		
連絡先	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-mail	

本調査における「共同輸配送」とは・・・

本調査における共同輸配送とは、同業種または異業種の複数の荷主企業の荷物を混載したり同じトラックをそれぞれが片道づつ往復で利用した都市間輸送や都市内配送をすることです。

ただし、本調査では、結果として積み合わせ輸送になる、いわゆる「特積み事業者」の行う輸送は、対象とはしません。

問1. 共同輸配送の実施状況についてお伺いします。

問1-1. 貴社では、共同輸配送を実施していますか。該当する番号に○をつけてください(1つのみ)。

1. 実施している⇒問1-2へ

2. 実施していない⇒問4へ

問1-2. 問1-1で「1. 実施している」と回答された方にお伺いします。貴社では、どのような形での共同輸配送を実施していますか。該当する番号に○をつけてください(1つのみ)。

1. 同業種間で実施している

2. 異業種間で実施している

3. 同業種間・異業種間ともに実施している

「異業種間での共同輸配送」とは・・・

「異業種間での共同輸配送」とは、複数の荷主企業が連携して、貨物の都市間輸送や都市内配送を実施するものうち、業種の異なる荷主企業同士で実施することです。

(例) 1台のトラックで、東京～大阪間の往路を、家電製品の運搬に、復路を書籍の運搬に使用して事業を実施している場合や、住宅機器メーカーと機械メーカーとが共同で配送システムを開発する場合など、業種が異なる荷主企業と連携した取り組みが該当します。問2-1の類型も参考に答えいただければと思います。

以後、貴社で取り組んでいる内容についてお答えいただく場合、異業種間での共同輸配送を優先してお答えいただきますようお願いいたします。

問 2-1. 共同輸配送について、貴社ではどのような取組を実施していますか。①取組実施に至った背景、②具体的な内容、③取り組んだ効果について、代表的なものを1つお答えください。

(記述例)

- ・物流コスト削減が急務だったため、同業の A 社（差支えなければ個社名を記述していただければと思います）と話し合い、東京～大阪間の復路で空になったトラックに A 社の荷物を積むことで、トラックを往復で実車にすることにした。その結果、〇%の物流コスト、〇%の CO2 排出量削減効果があった。

問 2-2. 上記の貴社の取組は、次のどの類型に該当すると思われますか。該当すると思われるものに○をつけてください。複数の類型にまたがると思われる場合は、複数の類型に○をつけてください。

類型		概要	該当するものに○
類型①	集配送の共同化	都市内の集配送など主に短距離の集配送で、複数の荷主の荷物を1台のトラックに積み合わせるタイプ	
類型②	長距離輸送の共同化 (タイプⅠ)	都市間輸送など主に長距離の輸送で、複数の荷主の荷物を1台のトラックに積み合わせるタイプ	
類型③	長距離輸送の共同化 (タイプⅡ)	都市間輸送など主に長距離の輸送で、二社の荷主が1台のトラックを往復で片道ずつ利用するタイプ	
類型④	拠点施設の共同化	ひとつの物流センターや倉庫等を複数の荷主が共同で利用するタイプ	
類型⑤	物流資材の共同化	コンテナやパレット、通い箱等の物流資材を複数の荷主が共同で利用するタイプ	
類型⑥	情報システムの共同化	物流情報システムを複数の荷主が共同で利用するタイプ	
その他			

貴社の取組で該当する類型があれば○をつけてください。複数回答可

問3. 取組を実施していたが、中止してしまった取組についてお伺いします。

問3-1. 取組を実施していたが、現在中止してしまった取組があれば、どのような取組だったのか、①取組中止に至った背景、②具体的な内容について、お答えください。

(記述例)

・物流コスト削減が急務だったため、同業のA社（差支えなければ個社名を記述していただければと思います）と話し合い、東京～大阪間の復路で空になったトラックにA社の荷物を積むことで、トラックを往復で実車にすることにしました。しかし、思ったようにコスト削減につながらなかったため、昨年中止した。

問3-2. 中止の原因となった問題点は何ですか。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 輸送品質維持の面で問題があった | 2. 荷量がアンバランスになった |
| 3. リードタイム短縮の面で問題があった | 4. 荷物がなくなった |
| 5. コスト削減面で問題があった | 6. パートナー企業との情報開示面で問題があった |

問3-3. 問3-2を回答された方にお伺いします。もしよろしければ、問題点について具体的に記述してください。

(記述例)

・パートナー企業から、支払い運賃の設定根拠などの詳細な情報が開示されず、中途半端なものになってしまった。

問4. 共同輸配送を実施していない理由についてお伺いします。

問1で「2. 実施していない」と回答された方にお伺いします。なぜ、共同輸配送を実施していないのですか。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 共同輸配送についてよくわからないため |
| 2. 実施のきっかけがつかめないため |
| 3. パートナーを見つけることができないため |
| 4. 輸送品質維持の面でクリアできない課題があるため |
| 5. リードタイム短縮の面でクリアできない課題があるため |
| 6. コスト削減面でクリアできない課題があるため |
| 7. パートナー企業との情報開示面でクリアできない課題があるため |
| 8. その他 () |

共同輸配送に関するアンケート調査(運送事業者編)

貴社の概要についてお伺いします。

以下の項目について、お答えください。

項目	内容
貴社名	
連絡先	住所
	電話番号
	FAX
	E-mail

本調査における「共同輸配送」とは・・・

本調査における共同輸配送とは、同業種または異業種の複数の荷主企業の荷物を混載したり同じトラックをそれぞれが片道ずつ往復で利用した都市間輸送や都市内配送をすることです。

ただし、本調査では、結果として積み合わせ輸送になる、いわゆる「特積み事業者」の行う輸送は、対象とはしません。

問1. 共同輸配送の実施状況についてお伺いします。

貴社では、共同輸配送を実施していますか。該当する番号に○をつけてください（1つのみ）。

1. 実施している ⇒ 問2-1へ

2. 実施していない ⇒ 問4へ

問2. 取組を実施している共同輸配送の概要についてお伺いします。

問2-1. 共同輸配送について、貴社ではどのような取組を実施していますか。①取組実施に至った背景、②具体的な内容、③取り組んだ効果について、代表的なものを1つお答えください。

(記述例)

- 取引のあったA社・B社（差支えなければ個社名を記述していただければと思います）からのコスト削減要請が大きかったため、それまでは別々のトラックで輸送していた2社の荷物を、リードタイムや時間指定について両社と協議した上で、1台のトラックで往復輸送するようにした。その結果、○%の物流コスト、○%のCO2排出量削減効果があった。

問2-2. 上記の貴社の取組は、次のどの類型に該当すると思われますか。該当すると思われるものに○をつけてください。複数の類型にまたがると思われる場合は、複数の類型に○をつけてください。

類型		概要	該当するものに○
類型①	集配送の共同化	都市内の集配送など主に短距離の集配送で、複数の荷主の荷物を1台のトラックに積み合わせるタイプ	
類型②	長距離輸送の共同化(タイプⅠ)	都市間輸送など主に長距離の輸送で、複数の荷主の荷物を1台のトラックに積み合わせるタイプ	
類型③	長距離輸送の共同化(タイプⅡ)	都市間輸送など主に長距離の輸送で、二社の荷主が1台のトラックを往復で片道ずつ利用するタイプ	
類型④	拠点施設の共同化	ひとつの物流センターや倉庫等を複数の荷主が共同で利用するタイプ	
類型⑤	物流資材の共同化	コンテナやパレット、通い箱等の物流資材を複数の荷主が共同で利用するタイプ	
類型⑥	情報システムの共同化	物流情報システムを複数の荷主が共同で利用するタイプ	
その他			

貴社の取組で該当する類型があれば○をつけてください。複数回答可

問3. 取組を実施していたが、中止してしまった取組についてお伺いします。

問3-1. 取組を実施していたが、現在中止してしまった取組があれば、どのような取組だったのか、①取組中止に至った背景、②具体的な内容について、お答えください。

(記述例)

・取引のあったA社・B社(差支えなければ個社名を記述していただければと思います)からのコスト削減要請が大きかったため、それまでは別々のトラックで輸送していた2社の荷物を、リードタイムや時間指定について両社と協議した上で、1台のトラックで往復輸送するようにした。しかし、思ったようなコスト削減効果が得られなかったため、昨年中止した。

問3-2. 中止の原因となった問題点は何ですか。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 輸送品質維持の面で問題があった | 2. 荷量がアンバランスになった |
| 3. リードタイム短縮の面で問題があった | 4. 荷物がなくなった |
| 5. コスト削減面で問題があった | 6. その他 () |

問3-3. 問3-2を回答された方にお伺いします。もしよろしければ、問題点について具体的に記述してください。

(記述例)

・当初想定していた以上に、ガソリン代がかかってしまったため。

問4. 共同輸配送を実施していない理由についてお伺いします。

問1で「2. 実施していない」と回答された方にお伺いします。なぜ、共同輸配送を実施していないのですか。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。

1. 共同輸配送についてよくわからないため
2. 実施のきっかけがつかめないため
3. 荷主企業と相談できないため
4. 輸送品質維持の面でクリアできない課題があるため
5. 荷量がアンバランスなため
6. リードタイム短縮の面でクリアできない課題があるため
7. コスト削減面でクリアできない課題があるため
8. 荷主企業からの情報開示面でクリアできない課題があるため
9. その他 ()

問5. 着荷主、発荷主に求める条件についてお伺いします。

全員にお伺いします。共同輸配送実現に向けて、着荷主、発荷主に求める条件は何ですか。それぞれ該当する番号に○をつけてください(複数回答可)

【着荷主に求める条件】

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 荷降ろしまでの待ち時間の短縮 | 2. 庭先条件の明文化 |
| 3. 時間指定の緩和 | 4. 輸送リードタイムの延長 |
| 5. 過剰と思われる輸送品質の緩和 | 6. 特にない |

【発荷主に求める条件】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 出荷までの待ち時間の短縮 | 2. 輸送依頼の時間的な平準化 |
| 3. 時間指定の緩和 | 4. 輸送リードタイムの延長 |
| 5. 混載の許容 | 6. 料金引き下げを求めないこと |
| 7. 特にない | 8. その他 |

問6. 共同輸配送実現に向けて積み合わせできないもの(品目)についてお伺いします。

全員にお伺いします。共同輸配送実現に向けて、どうしても積み合わせできないものはありますか。①自社で取り扱っている商品・品目、②積み合わせできない商品・品目、③積み合わせできない理由についてお答えください。

①自社で取り扱っている商品・品目	
②積み合わせをできない商品・品目	
③積み合わせできない理由	

(例)
・食料品を扱っているので、臭いのきつい商品との混載は対応できない。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。